

トイレットペーパー おしゃれに 「hanauta」7日発売

近大生企業と連携し開発

トイレットペーパーもオシャレな時代!? 近畿大学(東大阪市)文学部芸術学科の女子学生たちが商品開発したトイレットペーパー「hanauta(ハナウタ)」が7日に発売される。若い女性が持ち歩いてもサマになるデザインを目指した。発売初日には、大阪市の空堀商店街の御屋敷再生複合ショップ「練～len」でサンプル配布などのイベントもある。商品は関西の量販店などに並ぶ。
【加納敬久】

近畿大の産学連携プロジェクトの一環。近畿大からは、造形芸術を専攻する4回生の榎上万里子さん、森口亜紀子さん、中山理佐さん、川端茜さんの4人が参加。西日本衛材(兵庫県たつの市)と連携して、昨年5月にプロジェクトチームを結成した。同社は阪神タイガース柄のトイレットペーパーなどで知られる。

チームは、空間デザインなどが専門の岡本清文准教授の指導を受け、量販店の店頭での観察や工場見学もして、包装や香り、ペーパーについて議論を重ねてきた。

花柄包装にハチミツ香も

そのうえで、20種類のデザインを考えた。手描きふうの花柄のバッケージで発売が決まった。パッケージは暖色と寒色の2種類。紙はハチミツな香りがし、淡い色もついでいる。榎上さんは「コストを考えた。オープン価格。



「hanauta(ハナウタ)」を手にする(左から)榎上さん、森口さん、中山さん、川端さん